YOSHIDA

SprintRay



3DX

3D PRINTING EXPERIENCE

TOKYO

開催日時 2027. 2/14 sun 10:00 > 17:00

会場 株式会社ヨシダ 東京本社

〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9

定員 70名

受講料 5,500円(税込・昼食付)

内訳:受講料5,000円(税別)+ 消費税500円 10%対象



3DX in TOKYO 特設サイト

3D PRINTING EXPERIENCE

セミナーの詳細やお申し込みは、特設サイトをご覧ください。右の二次元コードから簡単にアクセスできます。

販売名:スプリントレイ プロ2 3Dプリンタ　一般的名称:歯科技工室設置型コンピュータ支援設計・製造ユニット　届出番号:13B1X00005000267(一般)　製造販売元:株式会社ヨシダ 東京都台東区上野7-6-9

販売名:スプリントレイ マイダス 3D プリンタ　一般的名称:歯科技工室設置型コンピュータ支援設計・製造ユニット　届出番号:13B1X00005000270(一般)　製造販売元:株式会社ヨシダ 東京都台東区上野7-6-9

お申込み

ヨシダのホームページよりお申込みください。

※入金確認をもって受付とさせていただきます。

https://www.yoshida-dental.co.jp

ヨシダ

スマホからはQRで簡単アクセス

ご提供いただいた個人情報につきましては、弊社事業に関する情報、製品に関する情報の提供等、弊社インターネットホームページに掲載した個人情報保護方針「利用目的」の範囲内で利用させていただきます。

セミナー内容についてのお問い合わせ

株式会社ヨシダ

画像統括部

TEL.03-3845-2925 平日 10:00-17:30

G-PLUS会員登録やセミナー受講方法のお問い合わせ

g-plus@yoshida-dental.co.jp

※メールでの受付・回答のみとさせていただきます。

※お問合せは順次対応させていただきますが、状況により回答までお時間をいただくことがございます。予めご了承ください。

Speaker & Session

「抜歯即時埋入のその先へ」
～3Dプリンターを活用した即時修復ワークフロー～

本講演では、SprintRayを活用した抜歯即時埋入および即時印象について紹介します。最終補綴を見据えた軟組織マネジメントを考慮した、デジタル即時修復ワークフローの現状とその実際について解説します。



東京都渋谷区
渋谷マロン歯科Tokyo 院長

佐藤 年彦 先生 *Dr. Toshihiko Sato*

SprintRay APEXは保険適用義歯材料に適しているのか

歯科医師である演者は院内完結型３Dプリント義歯製作（IOSおよびCBCTを用いた義歯スキャン・エグゾキャドを用いたプリント有床義歯設計・SprintRay Pro２を用いたプリント有床義歯製作）を一人でおこなっています。
本講演では、昨年１０月に発売した保険適用義歯材料SprintRay APEXの物性に関し、症例より解説します。



神奈川県葉山町
ナカエ歯科クリニック 院長

前畑 香 先生 *Dr. Kaori Maehata*

MIDASが変える歯科医院経営と未来戦略

歯科医師・歯科技工士の人材不足や高齢化、診療コストの上昇など、歯科医院を取り巻く環境は大きな転換期を迎えている。
本講演では、歯科医療従事者の動向や診療報酬などのデータを踏まえ、日本の歯科市場が直面する課題と今後の展望を解説する。
また、複数の歯科医院を経営する立場から、MIDASによるワンビジット補綴治療や審美ベニアへの応用を紹介し診療効率と収益性の改善を通じた、これからの歯科医院経営の方向性を提示する。



医療法人 永孝会 理事長

八丁 裕次 先生 *Dr. Yuji Hatcho*

SprintRay MIDASが切り拓く院内補綴の新たな展開

従来、歯冠修復は加工機による削り出しが常識でした。しかし近年、3Dプリンターの台頭と材料の飛躍的進化により、“歯冠をプリントする”という新たなコンセプトが現実味を帯びてきました。現在は単冠修復が中心ですが、SprintRay MIDASはプリント工程を1つのカプセルに統合した製作が可能です。
本講演では、IOSの豊富な臨床経験をもとに、加工機とプリンターの役割の違いと今後の展開を考察します。



神奈川県横須賀市
小池歯科医院 院長

小池 軍平 先生 *Dr. Gunpei Koike*

SprintRayを活用したラボサイドの臨床応用と歯科医院とのデジタル連携
～デジタルラボとの連携が変えるこれからの補綴治療～

口腔内スキャナーをはじめとするデジタル技術の普及により、歯科医院と歯科技工所とのデータ連携は、より迅速かつ柔軟なものとなっている。本講演では、SprintRayを活用したラボサイドでの臨床例を紹介するとともに、クラウドを介した歯科医院とのデジタル連携について解説する。診療側で取得された口腔内スキャンデータを共有し、ラボサイドの補綴設計や3Dプリンティング技術と組み合わせることで、診療と技工をよりシームレスにつなぐことが可能となる。SprintRayを活用した実際のワークフローを通じて、デジタルラボの専門性を活かした効率的な補綴製作と、歯科医院・歯科技工所間における新たな協働の可能性について考察する。



EMIRPRIME DENTAL STUDIO
代表取締役

山崎 竜 先生
DT. Ryu Yamazaki